



金ヶ崎周辺整備構想 ~敦賀ノスタルジウム~ 将来イメージ図

## ～敦賀ノスタルジアム～

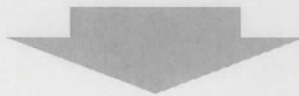
金ヶ崎周辺には、敦賀市の最も輝かしい時代の遺構やエピソードがあることから、未来に向けて市民が誇りを持って歴史をつないでいくため、先人が残した資源の保全や復元、エピソードをモチーフとしたまちづくりを進めます。

### ノスタルジアム

ノスタルジー・・・明治後期～昭和初期の最も輝かしい時代の敦賀港の雰囲気を感じ取ることができ、市民の郷土への愛着、誇りを醸成したり、市民や観光客が異国情緒を味わうことができる空間

単に過去を懐かしむだけでなく、現代に残る貴重な資源を未来に引き継ぐことを感じ取れる空間

ミュージアム・・・港と鉄道に関する歴史を中心に多様な資源がある金ヶ崎周辺全体を博物館に見立て、後世に史実を正しく伝え、市民や観光客の知的好奇心を満たすことができる空間



- 「アジアとヨーロッパを結ぶ港」として活気にあふれ、また「人道の港」として博愛精神にあふれていた、明治後期～昭和初期の敦賀港と鉄道の歴史を後世に残し、広く市民や観光客に伝える場とします。
- 特に「人道の港 敦賀」として、当時ポーランド孤児やユダヤ人難民の救済に向けて善意の手を差し伸べた市民の精神を受け継ぐべく、「おもてなしの心」で観光客を温かく迎えます。

### 3-3 金ヶ崎周辺整備の方向性

金ヶ崎周辺にある居心地の良い空間構成の要素からなるゾーンを相互に結び、金ヶ崎周辺全体の魅力と回遊性を高めます。

#### ■方向性1：ゾーニング

全体コンセプトを具現化し、金ヶ崎周辺整備の核となる場所や資源を併せて大きく2つのゾーニングを設定します。

##### ●金ヶ崎周辺の最も輝かしい時代、そして人道の港敦賀を象徴する場所

歴史のロマンや後世に誇るべき博愛の精神を感じ、伝え継ぐのに最もふさわしい場所

##### 古き良き時代を感じるゾーン

【かつて鉄道棧橋であった区域  
—プラットフォーム～乗降船場】

##### ●明治後期～昭和初期にかけての建築物や遺構で現存しているもの

まちの移り変わりを見続けてきた建物等の雰囲気を保全しながら、歴史を伝え継ぐ施設として活用

##### 遺構から歴史を学び知るゾーン

【赤レンガ倉庫、ランプ小屋、  
線路等】

#### ■方向性2：大通りと散歩道によるつながり

##### (1) 開放的な大通り

都市計画道路築港線、敦賀駅港線は世界とつながる敦賀港への主要なアクセス道路であるとともに氣比神宮や舟溜り周辺と連絡するメインストリートであることから、港まちを感じさせる開放的な雰囲気や花や緑で彩られた景観を形成することが重要です。

##### (2) 散歩道(小径や歩道)

###### 【近代化遺産を結ぶルート】

敦賀市の近代化を支えたレンガ建造物である赤レンガ倉庫、ランプ小屋、金ヶ崎隧道が金ヶ崎周辺内の歩いて回れる場所にあります。これらを結ぶ歩行ルートは、歩きやすく分かりやすい演出で近代化遺産の回遊を誘導する役割を担います。

###### 【花と緑の散歩道】

都市計画道路築港線、敦賀駅港線には広い幅員の歩道と街路樹が整備されており、花と緑の充実や沿道の公共施設を活用したもてなしの空間づくりが重要です。また、金ヶ崎緑地内には、散策ルートとして大通りの歩道から連続する緑で彩られたゆっくと歩ける散歩径が必要です。加えて、都市計画道路敦賀駅港線及び金ヶ崎松原公園線は、桜並木が整備されており、桜の名所金崎宮へ至るルートとなっています。

###### 【地形の特性を活かした遊歩道】(ボードウォーク、遊歩道)

金ヶ崎緑地から舟溜り地区にかけての敦賀湾に面した空間は、海辺特有ののどかさ、開放感、港特有の異国情緒を感じることができる快適な散歩道です。また敦賀湾に突き出た天筒山の遊歩道は、近代化遺産を結ぶルートや桜並木などと金崎宮、鴎ヶ崎広場などを連絡し、高台から港まちの眺望を楽しむことができる散歩道です。

###### 【近代化遺産そのものを活かした歩行空間】

金ヶ崎周辺と敦賀市の近代化を支えた鉄道の根幹である線路は、現在、休止中であり、古き良き時代を感じながら歩くことができる回遊空間となります。

## ■方向性3：溜り場、街角

### 【近代化遺産】

赤レンガ倉庫やランプ小屋、貨物線路、金ヶ崎隧道などの近代化遺産は、独特の雰囲気を有しており、人々が近代化の歴史に触れたり、交流できる場とします。

### 【歴史を感じる資源】

金ヶ崎周辺には、近代だけでなく中世時代や江戸時代の歴史資源など多様な歴史的な資源があり、人々が敦賀の歴史のロマンを感じたり、交流できる場とします。

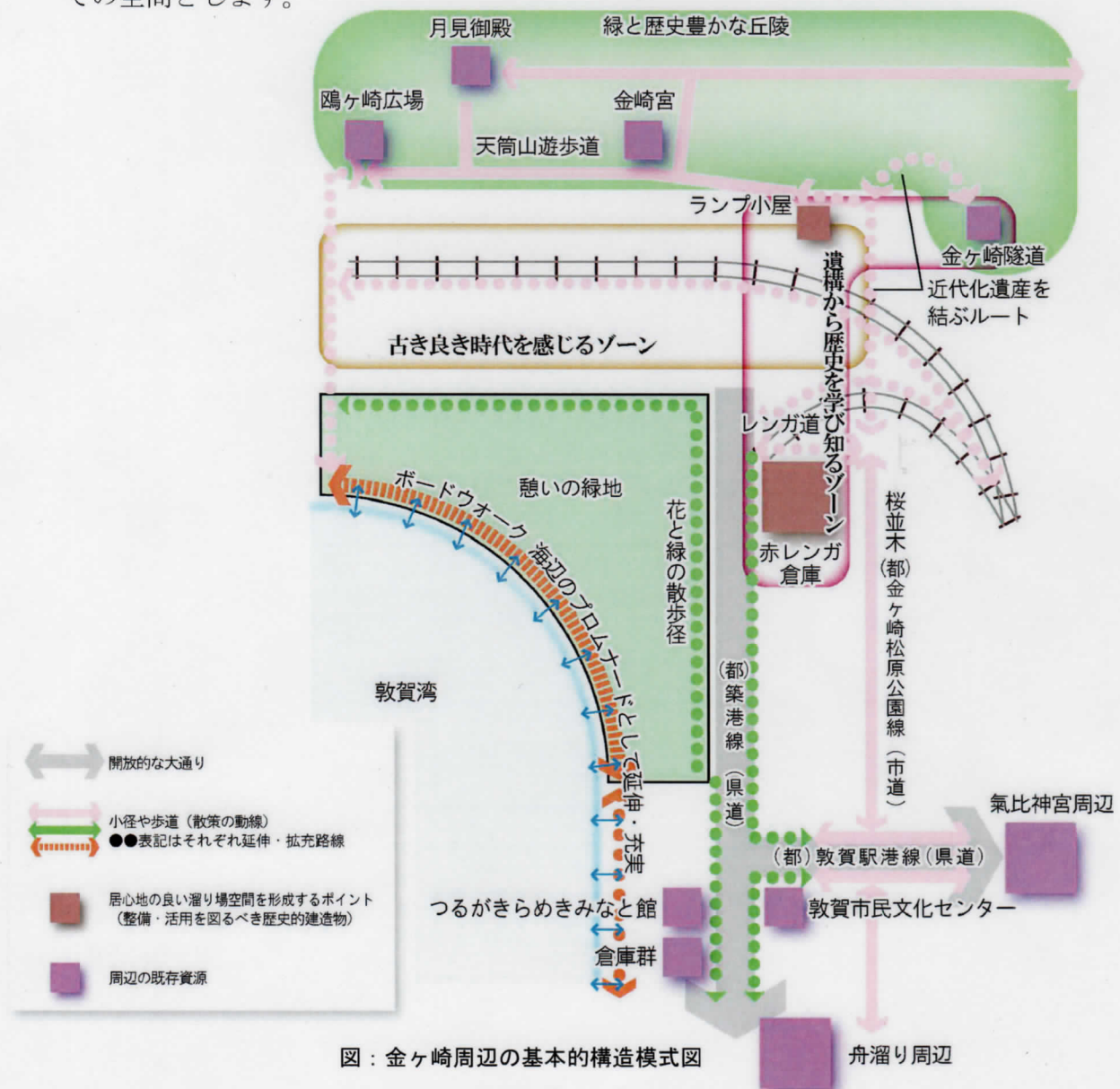
### 【公共施設】

つるがきらめきみなと館、敦賀市民文化センターなどの施設は歩道のある街路に面しており、敷地内のオープンスペースを活用してもてなしを演出する場とします。

## ■方向性4：オープンスペース

### 【憩いの緑地（金ヶ崎緑地）】

金ヶ崎緑地は、敦賀湾と歴史的な遺構の中間に位置するオープンスペースです。子どもからお年寄りまで誰もが居心地良く時間を過ごすことができる溜り場としての空間とします。



図：金ヶ崎周辺の基本的構造模式図

